

アジハラベイスの事業活動

令和6年5月1日

責任者 神垣忠幸

アジハラベイス活動実績は次のとおりです。

令和5年度

1. 「若いケアラーの居場所」事業開始（4月～）
2. 「天王寺区のこどもの居場所」認定（6月～）
3. 「無料塾」の事業開始（6月～）
4. 「ヤングケアラーインタビュー」の開始（6月～）
5. 「無料自習室」の事業開始（10月～）
6. 「ヤングケアラー支援を考えるシンポジウム」開催（3月2日）

令和6年度

1. 「みんなの居場所」事業開始（4月～）
2. 「天王寺区のこどもの居場所」継続（4月～）
3. 「無料塾」の事業継続（4月～）
4. 「自炊塾」の事業開始（4月～）
5. 「無料自習室」の事業継続（4月～）
6. 「大科学実験」開催（9月29日）

アジハラベイスはヤングケアラー支援を考え、実行するために生まれました。事業開始に先立ち令和5年1月から準備を始め、様々な支援団体や個人から教えと応援をいただき、順調にスタートを切ることができました。

特に地元の天王寺区では区役所の市民協働課と複数のNPOなどの協力の結果、区内の小学校の全校生徒に無料塾生徒募集と事業案内の配布が実現できました。さらにスクールソーシャルワーカー（SSW）と教頭先生らとの連携のおかげで課題を抱える子供達の学習支援の場「無料塾」として活用され、認知が深まっています。

複数のヤングケアラー経験者との出会いから、経験談インタビューを音声で保存することにいたしました。この試みは社団法人セーフティネットリンクージ代表理事高原達也氏の協力によるもので、このインタビューを聞いて衝撃を受けたという方々の感想を多くいただいています。「みまもりあいアプリ」を利用しています。

ヤングケアラー支援組織との交流会で、自習室の必要性の訴えをお聞きしたことから、無料自習室を開放することになりました。

3月2日には「ヤングケアラー支援を考えるシンポジウム」を開催し、40名近い参加者を得ることができました。

3月23日に開催された天王寺区社会福祉協議会主催のこどもの居場所シンポジウムにパネリストとして登壇し、ヤングケアラー課題に対する区民の意識を高める一助になったと感じています。

令和6年度の事業では、ヤングケアラー支援というフォーカスに変更はないが敢えて「ヤングケアラーの居場所」という看板を下ろし「みんなの居場所」と称して活動を発展させます。
新たな活動として「自炊塾」を開始しました。徐々に参加者は増え、今後の展開が楽しみです。

主な活動日を土曜日に変更した結果、協力を申し出てくれるボランティアの人々は高校生からシニア世代まで幅広く大幅に増加しています。毎月ボランティア参加者の応募をいただき大変心強く感じています。